

なんと！ ため込み金100億円超 (繰越金+3つの基金)



重点政策と市民要求が実現可能！

- 0～2歳児の保育料無料化！
約1億5千万円
- 子どもの医療費を高校卒業まで無料化！
約3千8百万円～3千9百万円
- 指定ゴミ袋料金を半額(40円)に引き下げ！
約6千万円
- 水道料金の引き下げ！
約2億6千万円
(年1万円×2万6千戸)
- デマンド・タクシーは、当面丹波医療センターまで「直行便」を運行！
約1千万円以内
(バスやタクシー事業者との調整が必要)
- 国民健康保険税の一世帯1万円の引き下げと「均等割」の廃止！
約8千2百万円
(1世帯1万円引き下げ分)
- 介護保険料の引き下げ！
約4億円
(介護給付費準備基金からの取り崩しで可能)
- インフルエンザ65歳以上無料化！
約2千万円
(受診率60%とした場合)



ため込み金＝繰越金+3つの基金

繰越金とは・・・

- ◎ 2019年度一般会計黒字決算で2020年度への繰越金12億円

3つの基金とは・・・

- ◎ 財政調整基金(貯金)55億円
- ◎ 地域振興基金42億円など目的別基金もその趣旨が合致すれば活用できます。
- ◎ 庁舎建設基金22億円も庁舎建設の先送りや中止で活用できます。

ため込み金の一部を使えば実現可能です



西本よしひろ

- ◆ ゴミ袋料金の値下げを！
- ◆ デマンド・タクシーの運行を旧町域へ拡大を！
- ◆ 子どもの医療費無料化を！
- ◆ 上下水道料金の引き下げを！

こうした問題を日本共産党は、合併以来、一貫して要求してきました

ここまで前進 → さらに前進を！

指定ゴミ袋料金	合併時にゴミ袋1枚100円を一貫して引き下げを要求し、日本共産党の追及で80円に。	まだ高いごみ袋、近隣市並の半額40円に引き下げを要求。市長は、9月議会の予算決算常任委員会で、「引き下げを検討します」と答弁しました。
デマンド・タクシー	旧町域運行の改善を一貫して要求。当面丹波医療センターまでの「直行便」を提案。	市は、当面2021年度に、木曜日の運行や乗り継ぎ待合環境の改善を図ることを9月議会一般質問で答弁しました。
子どもの医療費	中学校までの子どもの医療費無料化を実現したが、所得制限が強化された。	所得制限の緩和、撤廃を図り、18才(高校卒業)までの医療費無料化をめざします。
上下水道料金	下水道基本料金の使用水量10㎡以下2700円を、5㎡2100円とし、月額600円の引き下げを実現。	上水道料金は、高料金対策として一般財源を投入し、下水道料金は、処理場の統廃合等、経費の節減を図り、引き下げをすすめます。

市の財政は大丈夫ですか？

2019年度の決算で市債(借金)は、374億円(普通会計)ありますが、これは、公共事業など世代を超えた公平な負担を行うもので、着実に返済されています。地方交付税も34億円の減額の見込みが15～6億円となり、無駄を省き、効率的な財政運営を行えば心配ありません。



民報たんば
2020年10・11月号外

発行 日本共産党丹波地区委員会
丹波市柏原町柏原2909-1 TEL 0795-72-1241 FAX 0795-72-2687

日本共産党丹波地区委員会が、政策と見解を発表しましたので紹介します。

日本共産党

どの人を選べば
くらしがよくなるの？



(1) 住民の願いを受けとめ、実現しているか



市民アンケートや日ごろの生活相談に寄せられた願いや要望を受けとめ、しっかりと市政に届けました。

高い上下水道料金や保育料の引き下げ、国保税、介護保険料の引き下げ、便利の悪いデマンド型タクシーなど、市民のみなさんの願いに寄り添い、くらし・福祉・子育て支援の改善に努力してきました。

(2) 国や県の悪政に対し、その防波堤となっているか

コロナ禍のもと「地方税確保を求める意見書」をはじめ、種苗法の改正にあたり「農民の権利の立法化を求める意見書」、国民健康保険税の「国庫負担増を求める意見書」など、国や県の悪政に対し、その防波堤としての役割を果たしました。

(3) 市民目線で市政をチェックしているか

市民要求を実現するために、ムダな事業や支出をはじめ、不正や腐敗問題、コンプライアンス（法令遵守）など、市民の立場からきびしくチェックしました。

また、財政運営についても、当局言いなりでなく住民サービスに使う財源があることを示し建設的な提案を行いました。



議員を選ぶモノサシは3つ
明確です！

市民と力をあわせ、 建設的な提案で市政を動かす！

議会でも会派共同で
とりくみました

■「市補助金の不正受給に係る調査特別委員会」（100条員会）を全会一致で設置

15回に及ぶ委員会で、証人喚問・参考人質疑など行い、「補助金の財源は税金である。関係書類を確認せず、検査等を怠った市の責任は重い」と指摘しました。
(2018年3月)

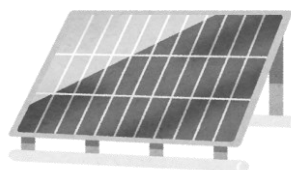
■ 柏原支所の「ホテル化」を否決

「観光拠点」計画から突然に「ホテル化」に変更、「公の施設」でなく目的外使用となることや、1億7千万円の公費を投入して、民間事業者に丸投げ、大きなリスクを伴うもので、市民への負担になる恐れが強いことなどで、賛成少数で否決しました。
(2019年7月)



■ 太陽光発電に係る「良好な環境の保全に関する条例」設置を提言

議会各会派に呼びかけ「太陽光発電設置に関する条例制定をめざす研究会」を16名で発足。再生可能エネルギーとして推進されている。その一方で、安全性や環境問題、



景観問題など住民とのトラブルなど大きな課題となっており関係条例を早急に制定することを申し入れました。

(2020年6月)



西本よしひろ議員

生活相談担当
春日・市島・柏原

西本議員に期待してます！

西本議員は、市教育委員会の「後援名義不許可」問題で、市教委がなかなか間違いを認めなかった「法令遵守」問題を、今年の6月議会で追及され、ついに長期に続けてきた「要綱違反」の事実を認めさせました。

岸田教育長に議場で、また主催者側に対しても謝罪させました。丹波市には、まさに不正を許さない“市政の番人”として、市政を厳しくチェックする日本共産党の西本議員が必要です。市議会になくてはならない議員です。心から期待し、応援しています。(藤尾)



9条改憲許さず、平和と民主主義、いのちとくらしを守る市政に！

日本共産党